

# 社外取締役メッセージ



社外取締役(独立役員)

梶 浩一

## 多様な視野で 将来を見据えた経営を

多彩な事業を展開する当社グループには、個別の事業について幅広い議論を踏まえた具体的なアクションプランが不可欠です。プラン策定には、過去の経験などバックミラーからの発想ではなく、中長期の時間軸とフォワードルッキングの視点が必須と思います。

社外取締役の視点から透明性や信頼性の確保に貢献するのは当然のことですが、加えて私は、高齢化社会・人口減少という社会構造の変化を踏まえた戦略立案の必要性という点でも、社外の目線で意見を述べ、当社グループに貢献していきたいと思っています。また、グループ全体のめざす姿に基づくPDCAサイクルの実践に向けて、多様な目を持った社外取締役同士で連携を深め、議論を活発化していければと思います。

グループの持続的な成長には、現場を支える人材の多様性もカギになると感じます。社外との交流の活性化や社外の人材活用などを通じて、将来への健全な問題意識を持った斬新な発想ができる若手が育っていくことを期待しています。



社外取締役(独立役員)

桜井 俊

## 環境変化に対応できる企業となるべく 中長期の視点で議論を深める

企業が持続的成長を遂げていくには、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保することが重要であり、外部視点からの指摘・監督が不可欠となっています。そのため、他の社外取締役と意見交換を密にし、議論を活発化させ、説明責任を果たせる取締役会運営に貢献していく所存です。

AI、IoTなど急速に進む技術革新に伴い、多くの産業分野でデジタルトランスフォーメーションが求められています。また、少子高齢化の進展により、社会・地域の在り方も変化してきています。こうした変革期のなか、当社グループは新たなライフスタイルの創造、提案などを通じ、ステークホルダーの期待や、社会的課題の解決に貢献すべく取り組んでおり、私は特に中長期の視点から経営への提言に努めています。

環境変化に柔軟に対応できる企業であるためには、多様・多彩な人材がいきいきと働ける企業であることも大事です。そういった観点からの議論も深められればと考えています。



社外取締役(独立役員)

貝阿彌 誠

## ガバナンスの強化と事業を通じた 価値創出による社会貢献に向けて

企業には、法令・社会規範を遵守した事業の推進とあわせて、企業活動を通じた社会貢献が求められています。私は法曹(裁判官等)としての知識や経験を活かして、当社グループにおけるコンプライアンスが十全なものとなり、ガバナンスがより有効に機能するよう尽くすとともに、社会貢献という目線で当社グループの企業活動を見つめていきたいと思っています。

当社グループの各事業は、それぞれが創出する価値を通じて社会に貢献していると思いますが、さまざまな事業を行っているからこそ、今後も一層ハコモノの枠を超えた幅広い多様な価値の創出、社会貢献を果たしていくことができるものと期待しています。

企業が健全に成長しながら社会に貢献していくためには、個々の人材が情熱を持ち、その仕事が社会に役立っていることを自覚しながらいきいきと働くことが重要です。私も当社グループの一員として、活力ある企業文化のさらなる発展に尽力していく所存です。



社外取締役(独立役員)

新井 佐恵子

## グループ各社の提供している価値を より積極的に社会へ発信していくべき

会計・ファイナンスの知識を軸に、ITベンチャーやホテル・ウェディング企業のCFOとしての経験を活かし、ガバナンスおよび監査の観点から当社グループに貢献していきたいと考えています。

これまでは生活者として当社グループのサービスを利用する側にいましたが、社外取締役に就任してからは、グループ各社の提供している価値が社会にあまり伝わっていないように感じています。渋谷再開発事業に象徴される「新しい街づくり」「ライフスタイルの創造」などの提供価値を、ESGの実効性も含めて積極的に発信していくべきと考えます。

企業組織については、「挑戦するDNA」を基盤により幅広い分野で社会に貢献していくため、今後はアントレプレナーシップを持った人材の育成が必要です。私自身は、国際的な人権NGOやインクルージョン勉強会などでの活動経験も踏まえて、さまざまな角度から、将来を見据えた経営課題を共有できる人材として、当社の社会的評価や信用の向上に寄与したいと思っています。